

品評会の野菜 施設に寄贈

中日青葉学園の児童に農産物を渡すJAあいち尾東の石黒秀一組合長。日進市野方町で



名古屋文化センターホルトの岩田園長(中)に農産物を手渡す水野JA長久手地域総括理事(左)と長久手市のJAあいち尾東長久手支店で



JAあいち尾東管内各地で

JAあいち尾東(本店日進市)管内の日進市、長久手市、尾張旭市で十四日、農畜産物の品評会があった。例年は審査後、展示と即売を行い、売上金を寄付するが、今年は新型コロナウイルスの影響で中止となったため、児童養護施設や介護施設などへ直接、寄贈された。(平木友見子)

日進市野方町の同JA中部ライスセンターで行われた品評会には、市内の農家約五十人が約二百点を出品。知事賞や市長賞など九賞が選ばれた後、知的障害者入所施設レジデンス日進など三施設の関係者に手渡された。同JA日進地域総括理事の牧秀次さんは「丹

精して育てた農産物をおいしく食べていただければ、農家の人たちも喜ぶと思う」と話した。

寄贈を受けた特別養護老人ホームのぞみの山中隆生施設長は「グループホームの利用者は、自分たちで料理をするので野菜をとても楽しみにしている」と話し、大量の野菜を持ち帰った。中日青葉学園に入所している小学四年の双子の姉妹石橋龍夏さん(左)と龍季さん(右)は「日進でたくさん野菜が作られていて驚いた」「いっぱい好きな野菜があったのでうれしい」と喜んでいた。

長久手市では、同JA長久手地域総括理事の水野文男さんが、児童養護施設の名古屋文化センターホルトの岩田正人園長に、約二百点の農産物を寄贈。尾張旭市でも児童養護施設の大和荘に出品物が贈られた。